

別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：NGUYEN THI PHUONG ANH
職業：大学生
所属：比治山大学言語文化学科
専門分野：国際コミュニケーション
日本語レベル：上級 N1
英語レベル：中級

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

ベトナムで生まれ育ち、高校を卒業して18歳の私は世界の厳しさを知らないまま両親から離れて遠い国である日本で新生活を始めました。ベトナムも日本もアジアにある国なので文化がよく似ているとずっと考えていましたが、日本に来たら世界はそんなに甘くないとわかる様になりました。日本語が一言も喋れなかった私は現在大学に進学して広島市内にある比治山大学の4年生になりました。

広島の子童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

私がよく周りの日本人の友達に聞かれていることは「ベトナムは田舎なの？」です。確かにインターネットに載せられているベトナムの画像は畑と農家達ばかりですが、現在のベトナムは大分違います。その違うところとググルを使って調べても出てこないベトナムの姿を日本の生徒たちに見せていきたいと考えています。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

上記で書いたように私はベトナムで生まれ育っていました。詳しく言うと、ベトナムの北部にある首都のハノイから来ました。みんながよく知っている南部にあるホーチミン市と違って、ハノイは少し小さくて歴史ある街です。日本に来る直前にハノイ市内にある有名な高等学校でベトナム文学を専攻しましたが、あまり興味がなくてうまく勉強できませんでした。今大学で専攻している国際コミュニケーション（英語を中心に異文化について勉強しています）と全く違って気づいたら自分もすごくびっくりしました。何も興味がなかった私は現在言語と異文化に非常に興味を持ち、やっと自分の得意なことを見つけてきたとわかる様になりました。皆さん、人それぞれに人生のペースがあるので自分のペースで勉強と仕事のやりがいを見つけて頑張ってください。